



クアルテット・アルモニコ

Quartetto Armonico Vol.9

モーツァルト

弦楽四重奏曲 第15番 ニ短調 Kv.421

ハイドン

弦楽四重奏曲 第79番 ニ長調 Op.76-5「ラルゴ」

ベートーヴェン

弦楽四重奏曲 第12番 変ホ長調 Op.127

2022年6月17日(金) 19:00開演 (18:30開場)

東京文化会館小ホール

チケット(全席自由):一般4,000円/学生2,000円

◎チケット取り扱い

東京アーティストズ 03-3440-7571 <http://tokyoartists.jimdo.com>

カンフェティ Confetti 0120-240-540 <http://www.confetti-web.com>

東京文化会館チケットセンター 03-5685-0650 <http://www-t.bunka.jp>

後援:東京藝術大学音楽学部同声会、藝大フィルハーモニア管弦楽団

マネジメント:東京アーティストズ 03-3440-7571



菅谷早葉
Sayo Sugaya, violin



生田絵美
Emi Ikuta, violin



阪本奈津子
Natsuko Sakamoto, viola



松本卓以
Takui Matsumoto, cello

写真：尾崎誠

Quartetto Armonico Vol.9



この2年で世界は大きく変わりました。コンサートが長くできなくなってしまったことにより、1回1回のコンサートのありがたみを感じ、またコンサート会場の同じ空間で聴衆の皆様と音楽を通してつながることのできる素晴らしさをより一層感じるようになりました。

今回のQuartetto Armonico Vol.9は東京文化会館小ホールに会場を移しての開催となります。

プログラム前半に、ハイドンとお互いに刺激し合い尊敬する仲でもあったモーツァルトの作品より、ハイドンへ捧げたハイドンセット（全6曲）の中から唯一の短調作品であるKv.421、ハイドンセットの素晴らしさに感銘を受け、2度のロンドン滞在を終えたハイドン自身の最も充実した時期に書かれた作品76（全6曲）より、緩徐楽章がひととき美しい第5番「ラルゴ」を取り上げます。

そして後半には、10年以上の間弦楽四重奏を書いていなかった50代のベートーヴェンが、第九交響曲の初演を終えた後、満を持して取り掛かった作品127を演奏いたします。

伝統ある素晴らしい空間で、ウィーン古典派弦楽四重奏の歴史を感じることもできるプログラムをお楽しみいただけましたら幸いです。

1995年に東京藝術大学の学生によって結成され、2000年弦楽四重奏専攻として大学院を修了、その後2000年～2004年にかけてウィーン国立音楽大学大学院で研鑽を積む。これまでに松尾学術振興財団、伊藤謝恩育英財団、文化庁より、音楽助成、奨学金を受ける。澤和樹、菅沼準二、河野文昭、岡山潔、ヨハネス・マイスル（アルティス弦楽四重奏団）の各氏に師事。

第4回フランス・シューベルト&現代音楽国際コンクールにおいて優勝、併せてベルクの叙情組曲の演奏に対し20世紀音楽最優秀演奏賞受賞、第8回ロンドン国際弦楽四重奏コンクール第2位、第2回ハイドン国際室内楽コンクール最高位、など数々の国際コンクールにて高い評価を得ている。

東京オペラシティ「B→Cシリーズ」、トッパンホール「エスポワールシリーズ」第1弾、また海外ではエクサンプロヴァンス音楽祭（フランス）、ハイドンフェスティヴァル（オーストリア）、ブレッド音楽祭（スロヴェニア）等に出演するなど、イギリス、ドイツなどのヨーロッパ諸国や日本で活発な演奏活動を行ってきた。

数年の活動休止を経て2016年からは、バロックから現代まで精力的に演奏活動を展開するチェリスト松本卓以が加わり、2017年から定期演奏会を再開した。東京藝術大学、同大学附属音楽高等学校、桐朋学園芸術短期大学にて後進の指導にあたっている。

©クァルテット・アルモニコ
URL=<https://quartetto-armonico-tokyo.jimdo.com/>
※未就学児の入場はご遠慮ください。